

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。

めぞせ、均等待遇、なくそう差別！

ユニオンは労務法裁判に勝利するぞー！

第51回全国青年団結集会

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙「みらい」
NO. 3827
18年2月6日(火)
Fax 095-828-1953



1月27日・28日、長崎市のホテル矢太楼で「第51回全国青年団結集会」が開催され、ユニオン長中支部より御手洗青年部長が参加しました。
以下報告です。

全国各地を持ち回りで開催するこの集会は、長崎では1991年以來の開催となり、約400名が参加しました。
まず初日は職場シヨットラリーが行われ、各職場実

態が報告されました。
郵政ユニオン
御手洗青年部長が職場実態報告と題して、人手不足や、自爆営業、正規と非正規の格差など郵政職場の現状を報告し、所属する郵政ユニオンは職場の労働条件向上や非正規社員の均等待遇などを目指し戦っている

井筒造船分会
井筒造船分会の新井青年部長が造船職場の実態について話をしました。
そのなかで井筒造船は基本給が非常に低く、この基本給だけではとても生活ができない。残業をしようと生活ができるのと生活できない。また、作業着の支給に関して年に1着支給で2着目は半額、3着目は8割会社負担とのことでした。

また、通勤手当は支給されない為、基本的に自宅から近い営業所に配属なのですが、今まで10分程度だった所から1時間かかるところに転勤させられたり、明らかに組合差別とらえられる行為をしているとの発表をしました。今後、運転手に担当車両を戻すことと、配置転換された運転手を元の営業所にもどすように会社と交渉することでした。

長崎バスユニオン
長崎バスでは、一人の運転手が同じバスを担当するという制度をとっているのですが、長崎バスユニオンに加入している運転手からは担当車両をとりあげて、毎日違うバスに乗せるなどの不当労働行為を会社側がしてくるとの発表がありました。このおかげで、先輩が乗っていたバスに、先輩が乗るので、後輩の方がバスに乗りづらいなどのことを訴えているとのことでした。

九州商船
昨年末のストライキは記憶に新しいと思いますが、九州商船には海員組合と陸員組合と2つの組合があります。ジェットフォイルの整備員が海員組合から陸員組合に変えられたことについて発表がありました。元々ジェットフォイルの整備員は海員組合の職員の範囲なので、陸員組合にするのは不当だという事で、会社と交渉してきましたが、会社は聞く耳を持たず、今後もこの件に関しては交渉を続けていくとの報告がありました。

分岐会発表
次に、全体の発表があった後で1グループ7名ほどにわかれ、職場の実態について発表がありました。とある宮崎県の町役場の方の話ですが、建築課に勤務しているのに、財務課の仕事を毎日させられるとの発表がありました。

共通の課題
みんな口をそろえて、言われていたのが職場での人手不足です。自分の仕事で一杯なのに人手が足りないところに応援に行かないといけない。そして残業、あるいはサービス残業にあるとのことでした。毎日仕事に追われ、疲れもとれないとの声も聞きました。
このように色々な企業や官公庁でも様々な問題があり、この問題を解決するためには、それぞれの組合が力を合わせて問題解決に向けて運動をしなければならぬと思います。



期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-山本, 2集-向井, 3集-山田, 郵便-高田, ゆうちよ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。